仕上げ作業中の立体地図模型を前にコンテストの入賞を喜ぶ学生たち

環境省の「まちづくりコンテスト」
稚内の植栽計画 職能大が第二席

北海道職業能力開発大学校（銭函3）の学生が、稚内の市民団体と協力してまちづくりプランを立て、環境省のコンテストで第二席に入った。学生は受賞を喜ぶ一方、2月20、21日に一般公開もされる同校の卒業研究発表会で成果を披露しようと、準備を進めている。（米林千晴）

20、21日に公開発表会
癒やし散策路やツタ外壁

植物の香りで生活環境を高めるアイデアを競う、「みどり香るまちづくり」コンテスト。同校建築科の中渡憲彦准教授が二〇〇二年、稚内市教委の依頼で歴史的建造物の調査した縁もあり、同科二年の学生七人と、稚内市歴史・まち研究会（富田伸司会長）が共同で立案して応募した。

学生と同研究会は昨年九月、稚内の町を歩き、写真二千枚を撮影、市民や横田耕一市長とも意見交換した。五百分の一の稚内市街の立体地図の模型をつくり、企画書「香りゃんせ通りコミュニティガーデンづくり」を一カ月で仕上げた。

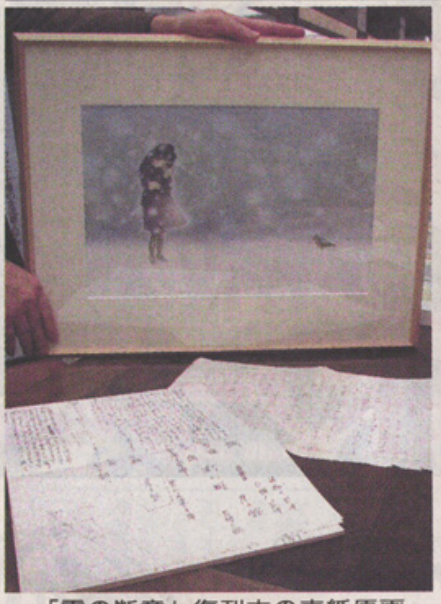
稚内中央埠頭から市街中心部、森林公園を結ぶ通り沿いに、癒やし効果のあるラベンダーなどを植え、人が心穏やかに集える散策路をつくる内容。周辺の公共施設の外壁はツタで覆うよう提案した。

今月中旬に受賞が決まり、記録担当の足立理恵さん（一九）＝倶知安出身＝は「連日夜遅くまで話し合い、納得できるものができた。受賞は自信になる」と笑顔をみせる。同研究会は副賞として企画に沿った千二百四十本の樹木や苗を受け取り、同校の学生や稚内市民とともに、五月ごろに植える予定。中渡准教授は「学生の感覚で、稚内の町に足りないものを発見し、企画に結びつけた。教科書やネットでは学べないものを学べたと思う。小樽でも同じような話があれば、ぜひコラボ（協働）したい」と話している。

きょうと明朝の天気

気温(℃) きょうの最高 あすの最低

	6時	9時	12時	15時	18時	21時	0時	3時	6時	9時	
小樽	☀	☀	☀	☀	★						2 / -2
手稲	☀	☀	☀	☀	★						2 / -2
倶知安	☀	☀	☀	☀	☀	☃					0 / -5
寿都	☀	☀	☀	☀	☀	☃					1 / -1



「雪の断章」復刊本の表紙原画（奥）と「崖の館」自筆原稿（右）。創作ノート（左）には題名決定の経過もうかがえる

佐々

キングな全十八巻を復刊。東京創元社も文庫版を出した。

「雪の断章―佐々木丸美展」は、こうした動きを受

30日から
市立小樽

三月一日まで 一般三百円、高校生・市内高齢者百五十円。問い合わせは同文学館☎0134・32・2388へ。（寺町志保）

保育所でノロウイルス
手洗いやうがい 保健所「徹底を」

【泊】村立とまり保育所（福森武二所長）で園児に嘔吐や腹痛などの症状が出た問題は、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の集団感染だったことが二十七日分かり、岩内保健所は保育所や学校に、手洗いやうがいの徹底を呼びかけている。

同保健所管内でノロウイルスが検出されたのは今年初めて。当初、給食による食中毒の可能性もあったが、食中毒の原因となる菌は検出されなかった。同保健所はとまり保育所に対し、職員の健康状況

小樽の歴史的建造物の保存・活用に取り組むNPO小樽ワークス（遠藤謙一良代表）は、地域交流の場としての利用を探っている「坂